

輩～TOMOGARA～

令和5年度 明石市立大久保北中学校生徒指導通信2月号

日常と休みと、時々テスト ～普段の授業を大切にしましょう～

今年はオリンピックイヤー（パリ五輪）であるので、閏年で2月は29日まであります。アスリートは、半年以上先の目標に向けて、今着実に力を蓄えています。目標は人それぞれですが、そのために全力で取り組む時間が、その人を強く、たくましくしてくれるのでしょう。

さて、2月は2回の祝日があります。一つ目は11日の「建国記念の日」。日本の初代天皇の神武天皇が即位した日にちなみ、日本の建国を記念する日として制定されました。

もう一日は2月23日の「天皇誕生日」。8世紀ころから、天皇の誕生日を「天長節」の名でお祝いしており、その名残が今も続いています。もちろん歴代天皇の生まれた日は同じではないので、その時代で天皇誕生日の祝日は変わっており、令和になってから2月23日が天皇誕生日に変わりました。それ以前といえば、

「明治天皇」の誕生日は11月3日。「その功績を世に伝えたい」という国民の声によって今では「文化の日」として祝日となっています。

「大正天皇」は誕生日は8月31日、暑さが厳しい時期で式典などを行ことが難しいため、10月31日に「天皇誕生日」の祝日が設けられていました。ただ、在位期間が短かったことなどからその後祝日とならずに現在に至っています。

「昭和天皇」の誕生日は4月29日。現在は「昭和の日」として祝日に制定されていますが、以前は昭和天皇が自然を愛していたことから「みどりの日」の祝日になっていました。

「平成天皇」の誕生日は12月23日。2学期末のこの日が祝日だった記憶はあると思いますが、現在は平日です。「平成天皇」は今上皇という立場であり、今の天皇との「二重権威」が生じるため平日となっています。

その時代によって変わる祝日ですが、心と体を休めつつ、普段の学校生活をより豊かにできるようにしていきましょう。

2月の月間目標

落ち着いた生活を送ろう

生活

日数は少ないですが、学年末考査や入試など慌ただしく過ぎていきます。学習面も大切ですが、朝の登校時間や休み時間の過ごし方など、時間や心にゆとりをもって生活できるようにしていきましょう。

双子の運命

過酷な環境で育った双子がいた。双子の父親は麻薬の常習犯で、酒に酔っては母親と子どもに暴力を振るった。双子が30代になったとき、心理学者が二人にインタビューをした。



双子のうちの一人は麻薬中毒になり、生活保護を受けていた。彼の暴力が原因で、妻と子どもは家を逃げ出していた。心理学者は彼に質問をした。

「あなたはなぜ、こんなことを自分の家族にしているんですか？」

「あんな家庭に育った私に、これ以上の何ができるというんだ！」

双子のもう一人は、ビジネスで成功して幸せな結婚をし、素晴らしい親になっていた。心理学者は彼に質問をした。

「あなたはなぜ、これほどのことが成し遂げられたのですか？」

「あんな家庭に育った私に、これ以上の何ができるというんだ！」

どう生きるかは自分の自由。どう生きるかは自分の責任。

動物は今しかないが、人間は今だけでなく過去や未来を考える

校則検討委員会

3学期に入り1,2年生の代表12名で、今の北中をより良くしていくために「校則検討委員会」を開いています。校則とは、学校が教育目標を実現していく過程において、生徒が守るべき、学習上、生活上の規律として定めたものとなっています。北中では、自らルールを守ろうとする意識（規範意識）を身に付けることが目標の一つにあります。また、中学生として「学習」「運動」にきちんと取り組むことが第一です。

後日、①②について1,2年生全員に検討内容についてアンケートを実施します。今のままだいいという人もいれば、変えたいという人もそれぞれいると思うので、周りの意見ではなく、自分の意見で答えるようにしましょう。一人ひとりが北中の未来を考えて、より良い学校生活を送ることができるようにしていきましょう。

No.	検討内容
①	ウインドブレーカーの着用について
②	登校時間について
	持ち物について
	→登校時の腕時計を検討したが、紛失・破損などの問題が考えられるため現状のまま
	髪ゴムの色について
	→個人が特定できる色も検討したが、変更不要と判断
	最終下校時刻について
	→夏場の下校時刻を伸ばしてもいいと意見が出たが、明石市内統一のため変更不可
	あいさつについて
	→あいさつを活性化できる取り組みを生徒会で実施する